

おといねっふ 議会だより



【ロータリー除雪車で豪快に雪を飛ばす ～村道止若内線拡幅排雪～】

令和7年 第4回定例会

目次

第4回定例会 行政・教育行政報告	P 1～P 5
第4回定例会一般質問	P 6～P 8
第4回定例会で可決・承認された議案	P 9～P 10
〈参加報告〉上川町村議会議員研修/行政視察	P 11
議会の動き	P 11

未来の職人からの贈り物

おと高生作品返礼品に採用

ふるさと寄付

令和7年第4回定例会が12月17日に召集され、村長・教育長の行政報告が行われ、遠藤村長からふるさと寄付に関して「おと高生が授業の中で制作した木製コースター・ポストカードが返礼品に加わる」との報告がありました。本会議は、3名の議員からの一般質問、一般会計補正予算を含む14件の審議を行い、同日閉会しました。

行政報告(要旨)

村長 遠藤 貴幸

●総務課関係

◇叙勲

永年にわたり村議会議員として村政の発展にご尽力いただいた元音威子府村議会議長の中尾稔様(令和7年8月逝去)に旭日単光章が贈られた。

中尾氏は、5期17年にわたり村議会議員として活躍され、平成29年からの4年間は村議会議

長として、議会の円滑な運営を通じて地方自治の発展に寄与された。心からお祝いを申し上げます。

◇ふるさと寄付

11月末時点で、一般のふるさと納税は、687件 834万7千円。新しいおといねっふ蕎麦が寄附者数の伸びにつながっている。また、おといねっふ美術工芸高校生徒が制作したコースターおよびポストカードが返礼品に加わる予定。今後も地域の特色・資源を活かした返礼品を創出し、

寄附額が増加するよう努めた。企業版ふるさと納税は、9社から470万円のご寄付をいただいた。ご寄附は謹んで採納させていただき、ご寄附の趣旨に添い有効に活用させていただく。



返礼品になるポストカードと木製コースター

◇エコ・ミュージアムおさしまセンター

来館者は5498名で、前年度比3403名増の大幅な増加となった。道の駅の臨時休業に伴い臨時的に設置した「ガチャピンズ」のみの利用にとどまらず、砂澤ビッキの作品と出会う

機会が創出され、来館者増につながった。ギャラリーイベントは、約1ヶ月ごとに計5回の展示を実施し、来館者から好評をいただいた。また、おと高ボランティアの皆様にも多くの場面でご協力いただき、来館者サービスの質の向上に寄与していただいた。11月より冬期休館に入り、館内収蔵のビッキ作品、約70点を北海道立旭川美術館に貸し出した。これらの作品は、「砂澤ビッキの生きた時代」(12月13日～3月15日)として同美術館に展示される。

◇北海道科学大学との地域包括協定の締結

10月10日、地域社会の発展と人材育成および学術の振興に寄与することを目的に、北海道科学大学と包括連携協定を締結した。同大学とは、「地域課題の解決に関すること」「人材育成に関すること」などの4点を相互に連携・協力するもの。

今後は、地域創造学部(仮称)のフィールドワークを受け入れる中で、地域課題の解決に向けた取り組みやインターシップの実施、大学教員による出張講座の提供などの取り組みを通じて、学生と地域社会が双方向に学び合い、地域の将来を担う人材の育成と地域経済の活性化の実現を目指していく。



遠藤村長と北海道科学大学・川上学長(右)

◇委託型地域おこし協力隊(起業)の委嘱

本村初の委託型の地域おこし協力隊として、堀麻衣子隊員と契約締結し委嘱した。堀隊員は、3年間を期限として起業を目標

とする計画で、現時点では、無店舗型の形態で耳つぼサービスなどの事業展開を予定。地域住民の健康増進と生活支援を軸とした新たなサービス提供を通じて、地域ニーズに応える活動を展開される。今後、村民の皆様との触れ合いに重点を置きながら、地域資源の活用などを通じて、地域課題の解決につながる活動へと結び付けていただく。

◇地域活性化起業人の企業派遣型の協定締結および副業型の契約

10月1日に企業派遣型の地域活性化起業人制度を活用して、一般社団法人まなざしのアークイブの三好さん・小町谷さん、合同会社A&Mの本橋さん、株式会社環の山口さんと協定を締結した。併せて、副業型としてTOKYOSOCIETAL合同会社所属の武内さんと業務委託契約を締結した。派遣協定・業務委託契約の締結は、地域創生推進の中長期的な視点に立ち、人口減少対策と地域産業の持続

的発展を実現するため、地域資源の有効活用と創造的なまちづくりを加速させることを目的としている。それぞれの専門性を活かした取り組みを通じて、地域の持続的発展に寄与することを見据え、様々な挑戦を続けていきたい。

◇交通ターミナル・チャレンジショップ

旧駅そばスペースは、使用者から期間延長の申出があり、12月下旬まで延長。12月1日には、そばの提供が1万杯を超えたと報告があった。旧バス事務所は、9月に美術作品のグループ展を実施。11月から1月にかけて観光案内所と村民交流スペース、さらに、地域おこし協力隊事務所を兼ねた複合的なサービス提供の場として展開されている。今後は、現行の運用を踏まえ、出店の継続性の確保と新規出店の適正化を図り、利用期間の最適化と運営体制の強化を進めていく。

◇音威子府2025芸術祭

(Artist in Residence 2025)

「音威子府2025芸術祭」が、11月の文化祭の日程に合わせ終了した。本事業は、「第3期音威子府村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策目標に基づき実施した。おと高卒業生を中心に、アーティストたちの創作活動とその成果の展示および地域住民との交流を通じて、芸術活動の普及、地域の活性化、人材育成等も目的としながら、おと高卒業生等の移住、定住につながる課題解決を目指す取り組みとなった。さらに、SNS等で多くの情報発信を積極的に行ったことで、関係人口の創出を促し、アートの村である本村の魅力を国内外に



おと高OBとのワークショップ

広く伝えられたことは、長期的な観点での地域ブランド強化に資する成果が得られたと判断している。

●消防支署関係

9月13日、「わくわく防災フェスタ」を開催し、多くの皆様にご来場いただいた。名寄河川事務所様のご協力による降雨体験、浸水体験等もあり、参加者の皆さんは、それぞれに防災・防火・救急への理解を深められた。

音威子府消防団と消防支署による秋季消防演習が、10月16日に実施され、積載水、防火水槽を使用した放水訓練が行われた。緊急時の迅速な消火活動につながるよう日常の訓練を重ねる。

12月1日現在の消防団員数は25名で、定数40名に対する充足率は63%となっている。

●住民課関係

◇村税等収納状況

11月末現在の村税・保険料の収納率は、村民税78・9%、固定資産税80・2%、軽自動車税

97・7%、国民健康保険税76・4%、介護保険料85・2%、後期高齢者医療保険料82・2%となっている。早期納付にご理解とご協力をお願いいたします。

村税・保険料の第4期分納期

税目	納期
村民税	1月末日
固定資産税	12月15日
国民健康保険税	
介護保険料	
後期高齢者医療保険料	

◇交通安全・防犯

9月から11月にかけて「秋の全国交通安全運動」、「冬の交通安全運動」が展開され、期間中、交通安全指導員の皆様によるパトライト啓発を実施した。また、10月2日に交通事故死ゼロ1000日を達成。今後も、交通安全運動を取り組む。

◇次期中間処理施設について

名寄地区衛生施設事務組合の、次期中間処理施設の建設は、昨年8月から本格的な工事が始



名寄地区一般廃棄物中間処理施設「エコスピカ」完成イメージ

められ、進捗率は年末までには50%となる見込み。新施設の名称は公募により「エコスピカ」に決定。令和9年4月の供用開始

に向け、引き続き安全第一と環境に配慮した建設を含め準備をしている。

◇敬老事業について

75歳以上の皆様に敬意を表し、記念の紅白饅頭と天塩川温泉の食事・入浴利用券を贈らせていただいた。初の試みだったが、天塩川温泉の利用促進と高齢者の外出促進も兼ねることとして実施させていただいた。末永く健康で生活していただけるよう願う。

◇各種予防接種について

インフルエンザ予防接種は、11月末時点で、おと高生を含め約330人が接種完了。本格的な冬を迎え、体調のコントロールも難しくなる季節となる。健康第一で過ごせるよう、今後ともインフルエンザおよびコロナウイルス対策を継続していただくようお願い申し上げます。

●経済関係

◇農政関係

そばは、播種時期により収量

差が大きい年となり、反収で1.5俵となったが、全道的に収量は平年並みであったことから、販売価格は1俵あたり1万円、1万2千円での取引価格で推移。全体収量は、576tで対前年比25%増となり、3年連続で続いた不作から、今年は微増という結果となった。

スナツプえんどうは、収量が期待されたが7月以降の高温の影響から、収量が昨年並みにとどまり、さやえんどうは、前年より0.4t減となった。販売価格は、スナツプえんどう、さやえんどうともに、品不足の影響もあり販売開始から終了まで引き合い強く、高値安定で推移した。

フルーツトマトは高温の影響により出荷が前倒しとなり、8月下旬以降の出荷量は平年より減少。価格は昨年以上の高価格となり、昨年を上回る販売単価となる見込み。来年度以降も更なる収量アップ、高価格に期待する。

◇林政関係

村有林保育間伐・枝打ち事業は、11月10日に発注し、保育間伐2ha、枝打ち1700本の事業を施工中。

有害鳥獣駆除については、11月末現在でエゾシカ126頭、アライグマ36頭、ヒグマ6頭を捕獲した。



村有林保育間伐の様子

◇商工観光関係

7月1日から予約受付、8月1日より引き換え販売を開始したプレミアム付き商品券は、800セットすべて完売となった。利用期間は2月20日までとなっている。期限内の使用をお願いする。商品券の活用により村内における消費が活性化さ

れ、地域経済の回復が図られることを期待する。

主要事業の青少年宿泊研修施設トムテ1階共用部床材張替工事、10月10日に工事完成。宿泊者の皆様に喜んで頂けること

と思う。また、新築から長らく修繕等を行っていなかった厨房の床についても床材を張替え、清潔感のある厨房に生まれ変わった。

音威富士スキー場は、12月1日に安全祈願式を行い、12月19日のオープンを予定している。多くの村民の皆様にご利用いただければと思う。

◇土木関係

主要事業の土木工事はすべて完成した。橋梁点検委託業務・上音威子府幸橋補修設計委託業務は、令和8年1月20日までの委託期間となっており、同日以降に業務検査を実施して完成となる予定。

除雪対策打合せ会議を11月18日に開催。各行政区長や除雪委託業者等を含め官民連携によ

り、打合せを実施した。今年度についても、安全第一・無事故で除排雪作業を実施していく。住民の皆様にも除排雪マナーの遵守をお願い申し上げる。

音威子府バイパス関連工事は、現在新築中の、除雪ステーション薬剤庫・第1・第2車庫は、1月下旬までには完成の予定。今年度末には、開通する予定。交通事故低減および雪崩による特殊通行規制区間の解消による道路交通の定時性、安全性の向上に大いに期待するもの。



村道の排雪作業の様子

◇上下水道関係

主要事の水道メーター交換工事は、10月31日に工事完了。簡易水道高度処理施設LCD

教育行政報告（要旨）

教育長 高橋 利玄

●学校教育関係

◇幼稚園教育関係

10月26日に幼稚園・保育所合同の幼児センター発表会を開催。約1ヶ月間、発表に向けて一生懸命練習してきた踊りや歌などを立派に発表することができ、参観したご家族等の皆さんから大きな拍手をいただいた。また、製作展示も披露し、子どもたちの成長を感じていただいた。

◇義務教育関係

9月20日に小中学校合同の学芸祭が開催された。小中学生が連携を取りながら演目を主体的に取り組み、各学年の特色ある歌や演奏、劇などが披露された。児童生徒は、日頃の学習や練習の成果

監視装置更新委託業務は、11月21日までに交換作業を終え、現在は、装置の機能確認・データ連携の最終調整を進めている。計

測の正確性と監視体制の高度化を両立させ、安定供給とサービス水準の向上を実現していく。以上、行政報告とする。

◇高等学校教育関係

を遺憾なく発揮し、仲間と協力することの大切さを学ばれた。10月28日には、中学生が村の議場において「子ども議会」を開催した。総合的な学習の時間を活用して、議会運営のアドバイスをいただくなど準備し、当日は活発な議論を交わした。これからの社会を生きる上で、地域発展のために子ども達自身がいちや考えを持ち、的確に伝えることの大切さを学んだ。

第59回全道高等学校美術展が10月8日～10日、札幌市において開催された。全道の各支部から約500点が出展され、おといねっふ美術工芸高校からも道北支部美術展で入選した22名の生徒の作品を出展し、5名が優秀作品という結果を納めた。



鋭い質問が続いた子ども議会

10月4日・5日の2日間、JR旭川～稚内間を往復する観光列車「秋たび そうや」号が運行された。この列車のヘッドマークは、JR北海道よりおといねっふ美術工芸高校にデザインの依頼があり、稚内方面の1号車には3学年の伍石心愛（ごいしここあ）さんの作品が、旭川方面の4号車には1学年の佐藤愛（さとうあい）さんの作品がそれぞれ選ばれ、乗客や多くの鉄

道ファンを楽しませた。また、音威子府駅構内に生徒の工芸作品6点と美術作品8点を展示し、乗客や観光客に本校を知ってもらう貴重な機会を設けた。新聞報道もあり、おといねっぶ美術工芸高校の活動を広く紹介するとともに本校の魅力を伝えることにつながった。

高校生の美術工芸教育の振興と日本が誇る美術工芸の技を、次代へ継承する才能を発掘する目的として、京都府で開催されている第17回美術工芸甲子園に、本校から6名が応募した。全国28校、84点の応募の中から、2学年・久保 遼弥(くぼりょうや)さんが優秀賞を受賞された。改めて、本校生徒の制作力の高さや表現力の豊かさを再確認するとともに、後輩たちにとって大きな励みとなった。

おと高生とセコマとの連携事業「おと高年賀状」が今年も行われ、15種類のデザインが採用され販売されている。



(株)セコマとの連携事業「おと高年賀状」(セイコーマート年賀状カタログより抜粋)

●生涯学習関係

放課後スポーツクラブが今年も10月からスタートし、地域住民や学校教員が指導者となり、子どもたちは様々なスポーツにチャレンジしている。今後、社会教育事業の一環として学校と連携を取り、地域住民や近隣自

民の方々には、歌や楽器演奏、踊りなど盛り上げていただいた。また、ホットコーヒーや野菜スープレの無料提供、手作りパンの販売、さらには餅まきも実施し、多くの村民の皆様が楽しいひと時を過ごされたと思う。当日はインターネットでのライブ配信を試験的に実施した。文化祭の開催にあたり多くの関係者の皆様にご協力をいただいたことにより感謝を申し上げる。

治体の協力をいただきながら継続した取り組みをしていきたい。音威子府村文化祭は、10月30日から11月1日まで作品展示、11月1日には芸能発表を開催した。芸能発表は幼児センター園児、小中学生、高校生をはじめ村民の方々に、歌や楽器演奏、踊り

など盛り上げていただいた。また、ホットコーヒーや野菜スープレの無料提供、手作りパンの販売、さらには餅まきも実施し、多くの村民の皆様が楽しいひと時を過ごされたと思う。当日はインターネットでのライブ配信を試験的に実施した。文化祭の開催にあたり多くの関係者の皆様にご協力をいただいたことにより感謝を申し上げる。



焼き芋体験 (フィールドクラブ)

「フィールドくらぶ」は、9月13日に消防支署主催の「わくわく防災フェスタ」に、NPO法人きよせラボ様のご協力を得ながら運営に参加した。手伝いの後は、降身体験やロープ渡過などを体験し、防災意識の向上につなげた。10月はハロウィンイベントとしてカボチャクッキーな

第43回クロスカントリー音威子府大会は12月25日に開幕し、26日・27日の両日で競技を行う。2種目で延べ786人がエントリーしており、現在、大会に向け準備を進めている。

例年になく少雪だが、無事に開催できることを願っている。大変多忙な時期の大会運営に対し、ご協力いただき関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

以上、教育行政報告とする。

以上、教育行政報告とする。

令和7年第4回（12月）定例会 一般質問

「高齢者の福祉施策について」

質問者 杉山 均 議員
答弁者 遠藤村長

杉山議員

高齢者の交通手段について、特に冬季の通院や買い物足の不足しているとの声が多い。免許を持たない、あるいは冬場の運転が困難な高齢者に対し、村として交通手段を確保できないか。



村長

過去には、高齢者生活福祉センターやときわの入居者を対象に、介護支援の一環として村のワゴン車で名寄市内への送迎支援を行っていた実績があるが、希望者減少や介護支援の増加などにより、現在、その取り組みは継続できていない状況である。一方で既存の公共交通機関については、利用促進の必要性はあるものの、ダイヤや便数の面

で利便性が十分とは言えない実情も認識している。

今後、どの程度のニーズがあるのかを把握したうえで、介護支援の必要のない高齢者を対象に、村のワゴン車を活用した外出支援を、あくまでも交通手段の一つとして検討することは可能。ただし、通院支援は時間や場所が異なり、ニーズが多様で個性が高く、現状の体制では困難である。

杉山議員

すでに困っている住民もいる。できるだけ早期に具体策を検討してほしい。

村長

これまで実施していた事業が継続できていないことは、課題だと認識しているが、どの程度の利用希望があるのか把握できていないのが現状である。ニーズ調査を行い、その結果を踏まえて実現可能な方法を検討したい。併せて、村単独ではなく、定住

自立圏構想の会議などを通じて周辺自治体と連携しながら、地域全体の公共交通のあり方についても検討していきたい。

杉山議員

本来、公共交通は国が責任を持つ分野である。他市町やJR北海道、バス会社とも連携し、ダイヤの見直しなど根本的な改善を働きかけるべきではないか。

村長

公共交通、医療、介護といった基礎的な生活サービスについて



は、国が責任を持って地方に行き渡らせるべきものかどうかという考えは、私も同様である。そのため、道北地域の他自治体との連携を強化しながら、JRやバス事業者に対する要望活動も行っていく必要があると考える。私自身、中央省庁に対して陳情を行っており、地方における公共交通の現状や課題をしっかりと伝え、制度面・財政面の改善についても要請を続けていきたい。

杉山議員

住民サービスとして、村が責任を持って交通施策に取り組むことを強く求める

村長

高齢者が安心して生活できる環境を整えることは、村の重要な責務であると認識している。住民の声を踏まえながら、現実的かつ持続可能な形で、交通手段の確保に向けた検討を進めていきたい。

令和7年第4回(12月)定例会 一般質問

「防災対策について」

質問者 玉田 健 議員
答弁者 遠藤村長

玉田議員
防災備蓄品は、どこに、どんなものが、どの程度あるのか。

村長

地域交流センターに保管している。100人で3日分を基本想定とし、非常食1600食、飲用水340ℓ、段ボールベッド100組、毛布100枚、簡易トイレ700回分の他、間仕切りヤストープ、発電機などを備えている。

玉田議員

期限が近い備蓄食料や、備蓄品のアップデート、プライバシー配慮等の考え方は。また、ペットを同伴して避難所へ避難することは可能か。

村長

今年で言えば、「防災フェスタ」で期限の近いものを配布するなど、廃棄しない工夫をしてきた。今後も工夫して廃棄しないよう努める。アップデートについて

は、実際の避難所を開設した自治体の事例を参考に、プライバシー配慮や衛生管理が進んだ改良品に随時更新している。

玉田議員

ペットを連れての避難は、衛生面やアレルギー、噛みつき事故防止の観点から、避難所内への同伴は難しいと考える。飼い主の責任で、避難所の外においてケージ等で管理していただきたい。

玉田議員

厳冬期の災害時における対応は万全か。また、備蓄品が不足した場合の対策は。



村長

ジェットヒーター等の暖房器具を用意している。燃料は石油組合と協定を結び、物資は、国や北海道町村会、㈱セコマとの協

定により優先的に供給を受けられる体制となっている。

玉田議員

道の駅も避難場所に指定されているが、改修後の道の駅はどう活用されるのか。

村長

災害時には1階を避難場所、調理スペース、2階はこれからの協議になるが、避難場所として開放したいと考えている。

玉田議員

ハザードマップ上、ほとんどの避難場所が浸水域にしている。浸水時の避難想定はどのように考えているのか。

村長

スキー場ロッジが唯一の高台避難場所。大雨や堤防決壊などの危険が迫っていると判断したときは、LINEや広報車などで迅速に誘導する。

玉田議員

災害情報発信にLINEは有効な手段と思う。村公式LINEの登録者数はどれくらいか。

村長

村公式LINEの登録者数は487人。村内におけるスマートフォン普及率は世帯普及率で97%。災害時には広報車等も活用していく。

玉田議員

住民参加型の避難訓練を検討されてはどうか。

村長

災害時に冷静な対応をするためにも、避難訓練は非常に重要な訓練を通じて課題を明確にし、備えを強化していきたい。

音威子府村
公式LINE
二次元バーコード

是非、ご登録を！

*一般質問・答弁は中略・要約しています。

令和7年第4回(12月)定例会 一般質問

「公共施設のネーミングライツ等広告募集の検討について」

「道の駅2階の有効活用について」

質問者 小西邦広 議員
答弁者 遠藤村長

小西議員

村有施設へのネーミングライツ導入や、公用車への広告掲載など、収入を増やす考えはないか。



村長

ネーミングライツは有効な手段と考えるが、馴染みのある施設名を変更することになるため、慎重に検討する。また、車両広告は、公共の車両であることも鑑み、デメリット等も考慮する必要があると考えるが、経費のかからない方法で既存のもの

をどう活かすか、今後検討していきたい。

小西議員

収入を得る手段として積極的に取り組んでほしい。ニーズがあるとの声も聞くので、前向きに検討してほしい。

村長

リスク管理をしつつ、収入が得られる方法を模索していく。慎重かつ前向きに検討したい。

小西議員

これまで道の駅の2階はあまり活用されていなかったと認識している。リニューアルオープンに合わせて、どのように活用していくのか。

村長

道の駅2階はこれまで、有効活用されているとは言い難い状況だったのは承知しているが、12月1日に(株)セコマと道の駅の施設管理に関する協定を締結した。そのため、村の一存で決めることは難しく、協議が必要となるが、イベント等の貸しスペースとして柔軟に対応できることも聞いている。防災拠点としての役割があり、災害時は避難場所となるが、平常時の活用について活用方法を検討していきたい。

小西議員

以前は道の駅1階部分に観光案内所のような機能があったと記憶している。現在、交通ターミナルのチャレンジショップで観光案内所のようなことをされているようだが、道の駅は音威子府村のひとつの顔でもあると思う。村民から意見を募るなど、村内外の人に喜ばれる場所とし

て活性化させていただきたい。

村長

貴重な意見をいただいた。防災拠点としての役割を重視するのはもちろんだが、村の象徴となる場所にするため、具体的な活用方法を考えていきたい。村民からの意見を取り入れつつ、村内外の多くの人々に喜ばれる活用方法を考えていきたい。

いずれにしても、防災機能と地域活性化を両立できるように方向性を示していきたい。



可決・承認された議案

【議案第45号】

音威子府村表彰審査委員会委員の委嘱について

構成団体である社会福祉団体において役員の改選が行われたことに伴い、新たに、上出秀行氏の推薦があつたことから委員長嘱の同意を求めるもの。
(原案どおり同意)



【議案第46号】

音威子府村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正」が行われたことから、これに基づ

く、所要の改正を行うもの
(原案どおり可決)

【議案第47号】

音威子府村職員の給与に関する条例の一部改正について

国家公務員における「一般職の職員の給与に関する法律等」の一部を改正する法律」の改正に準拠するため、本条例の一部を改正するもの。
(原案どおり可決)

【議案第48号】

音威子府村特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

国家公務員における「一般職の給与に関する法律等」の一部を改正する法律」の改正に準拠した音威子府村職員の給与に関する条例の一部改正にあわせ、本条例の一部を改正するもの。
(原案どおり可決)

【議案第49号】

音威子府村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

国家公務員における「一般職

の給与に関する法律等の一部を改正する法律」の改正に準拠した音威子府村職員の給与に関する条例の一部改正にあわせ、本条例の一部を改正するもの。
(原案どおり可決)

【議案第50号】

音威子府村議会議規則の一部改正について

本村議会のペーパーレス化を推進するにあたり、職員がパソコンを議場に持ち込むことができるよう、規則の一部を改正するもの。
(原案どおり可決)



【議案第51号】

令和7年度音威子府村一般会計補正予算(第6号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1500万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億3300万円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・特別交付税

△2394万8千円

・音威子府神社線

神社橋補修工事補助金

△1183万9千円

・学校施設環境改善交付金

210万6千円

・利子及び配当金

110万9千円

・基金繰入金

4189万5千円

・雑入(建物災害共済金)

736万6千円

・村債

△200万円

【歳出】

・持家住宅促進奨励等補助金

100万円

・基金利子

110万円

・村有住宅修繕費

595万6千円

・診療所管理運営助成金

200万円

・地域おこし協力隊事業所等

雇用型隊員業務委託料

△1560万円

・医療機関支援助成金

540万円

・名寄地区衛生施設

事務組合負担金

1190万8千円

・商工会運営補助金

△250万円

・スキー場庄雪車借上料

110万円

・音威子府神社線

神社橋補修工事補助金

△1840万円

・小中学校修繕費

193万5千円

・小中学校職員室等

冷房等設置工事費

632万円

・音威子府パークゴルフ場

維持管理委託料

△211万3千円

・職員給与および手当等

1663万8千円

(原案どおり可決)

議会傍聴しませんか？

村議会本会議は、受付で名簿に住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。

ただし、傍聴規則は必ず守っていただきます。

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)あり、日程はその都度、回覧等でお知らせしています。

【議案第52号】

令和7年度音威子府村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ45万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9376万7千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・一般会計繰入金

43万5千円

【歳出】

・職員給与および手当等

39万4千円

(原案どおり可決)

【議案第53号】

令和7年度音威子府村介護保険特別会計補正予算(第2号)(保健事業勘定)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ65万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8193万4千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・介護保険事業費補助金

60万5千円

【歳出】

・制度改正に伴う介護保険システム改修事業委託料

121万円

・地域密着型介護サービス給付費

△100万円

・施設介護サービス給付費

200万円

・予備費

△203万7千円

(原案どおり可決)



【議案第54号】

令和7年度音威子府村簡易水道事業会計補正予算(第3号)について

収益的収入及び支出第1条収入第1款簡易水道事業収益から38万8千円を減額し4408万円に、支出第1款簡易水道事業費用から40万円を減額し4202万1千円に、資本的収入及び支出第2条支出第1款資本的支出に1万2千円を追加し3601万8千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・一般会計繰入金△39万7千円

【収益的支出】

・原水及び浄水費 5万3千円

・総係費

4万9千円

・職員給与費

△39万7千円

・予備費

△10万1千円

【資本的支出】

・基金積立金

1万2千円

(原案どおり可決)

【議案第55号】

令和7年度音威子府村農業集落排水事業会計補正予算(第1号)について

【意見書第5号】

収益的収入及び支出第1条収入第1款農業集落排水事業収益に6千円を追加し4768万4千円に、支出第1款農業集落排水事業費用から4千円を減額し5451万3千円に、資本的収入及び支出第2条支出第1款資本的支出に1万円を追加し1803万7千円にするもの。

【意見書第6号】

「道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改訂版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求め

る意見書(案)」の提出について

提出者 杉山 均

賛成者 玉田 健

(原案どおり可決)

【発議第4号】

閉会中の調査の申し出について

閉会中に、住民福祉(子育て支援・医療・介護・福祉)の現況と課題の調査、及び人口減少問題に関する施策の検証と課題整理

について調査が必要なため。

(原案どおり可決)

町村議会議員研修会に参加



講演に耳を傾ける本村議会議員たち

上川町村議会議長会と北海道市議会議長会道北支部が共催する議会議員研修会が11月6日に旭川市公会堂で開催され、本村議会から全議員が参加しました。

今回は「議会改革の現状と課題」、「最高裁判例から見るとハラメントの傾向と対策」の2つについてお話がありました。

1部の「議会改革の現状と課題」では、議員のなり手を探すための主案についてなどのアドバイスや事例などをご教示いただき、2部では、昨今の様々なハラメント事例と対処法や注意点を

などについて学んできました。とても考えさせられる内容で、一つ間違えれば被害者にも加害者にもなり得ることを再認識する大変有意義な研修となりました。

研修会の翌日には、旭川市工芸センター（旭川市緑が丘東1条3丁目）に伺い、令和7年7月に締結した協定に関して意見交換を行い、併せて施設見学をさせていただきました。

同センターは、旭川市の主要地場産品である木製品の振興のため、家具メーカーや木工作家などから依頼を受け、強度や耐久性の試験を実施している試験機関であり、技術指導や講習会などの開催にも努めている市立の施設です。

この度の協定では、両地域における木工芸の振興・発展は元より、同センターと本村の美術工芸高校の連携・協力により、人材育成につなげていくことが記されています。これを受け、村議



木材の強度試験の様子

会として、今後の展望や当面の課題について意見交換を行い、互いの理解を深めました。

なお、同センターには、おと高OBの千葉将壽さん（H21年度卒）が在籍しており、近況を伺うと、「直近まで技能五輪に出場する選手の指導にあたっていました」とのことでした。（※今年度の出場6選手うち2選手はおと高OBでした）

近い将来、現役のおと高生が技能五輪に出場し好成績を収める…、そんなことも期待しながら、今回の視察を終えました。

議会のうごき

【12月】

1日	音威富士スキー場安全祈願式	スキー場	(議長)
4日	上川北部消防事務組合議会第2回定例会	名寄市	(関係議員)
	名寄地区衛生施設事務組合議会第2回定例会	名寄市	(関係議員)
10日	行政常任委員会	役場	(全議員)
12日	例月出納検査	役場	(関係議員)
17日	村議会第4回定例会	議場	(全議員)

【1月】

6日	音威子府消防出初式	地域交流C	(全議員)
13日	例月出納検査	役場	(関係議員)
16日	令和7年度商工業従業員永年勤続表彰式	公民館	(議長)
28日	上川町村議会議長会役員会	旭川市	(議長)

【2月】

3日～4日	令和7年度会計定期監査	役場	(関係議員)
6日	上川町村議会議長会定期総会	旭川市	(議長)
10日	上川教育研修センター組合議会	旭川市	(議長)
11日	北海道議会議員 今津ひろふみ 新春の集い	美瑛町	(議長)
12日	例月出納検査	役場	(関係議員)

第1回定例会 3月10日 開会(予定)